

第 83 回科学教材開発研究会報告

2022年3月19日（土） 14:00～16:00

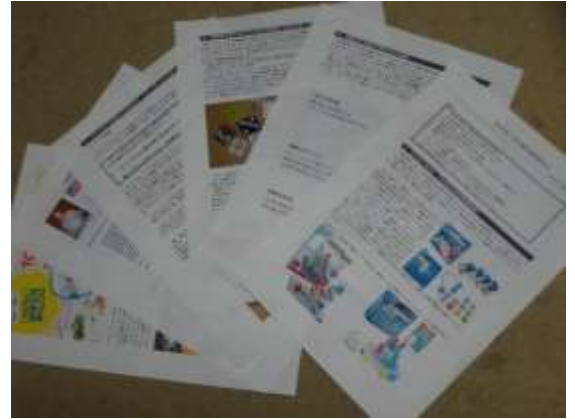
ところ 福井県立こども歴史文化館 体験ルーム 1

参加人数 3名

新型コロナウイルスの蔓延防止のためにしばらく研究会を休んでおり、1年ぶりの開催となった。

野路さん

今回の研究会のためになんと12ページもの報告書を半年前から用意していただいていた。この報告書はいろいろなおもちゃやパズルなど、興味深いものが多彩であるので、PDFファイルを入手次第添付資料としたい。



第 83 回 科学教材開発研究会資料

●TOCCO Circuit Maze(プレゼント)

問題用紙を2度折ることによって配線をつなぎ合わせ、電球を点灯させる問題。問題はVol.1～Vol.4まであって、一つだけの電球を点灯させるものから、複数の電球を直列や並列に配線させる問題まで多彩である。慣れていない人にとっては結構てこずるかもしれない。用紙には折り目が入っていて親切な心遣いがなされている。



TOCCO Circuit Maze

工藤

●ぴよんぴよんウサギ(工作)

「青少年のための科学の祭典」はここ2年間休止しているが、今年は開催されるのではないかと思い、出し物として準備しているものである。昔からあるおもちゃで、バネについたキツツキが振動しながら木をつつきながら下りてくるものである。今回はキツツキの代わりに折り紙のウサギや蝶々などを使うことにした



ぴよんぴよんウサギ

月僧さん

●輪ゴムギター(工作)

五歳児のための教育に輪ゴムギター作りを行った。コロナウイルスの感染防止のために遠隔ワークショップとなったが、子どもたちは楽しく遊んでくれた。発泡スチロールのパックに6本の輪ゴムを引っかけて張り具合を調節すると、ドの音からラの音まで奏でることができる。人間の耳は音程には敏感だそうで、微妙な弦の調節を行うことができるそうだ。



輪ゴムギター

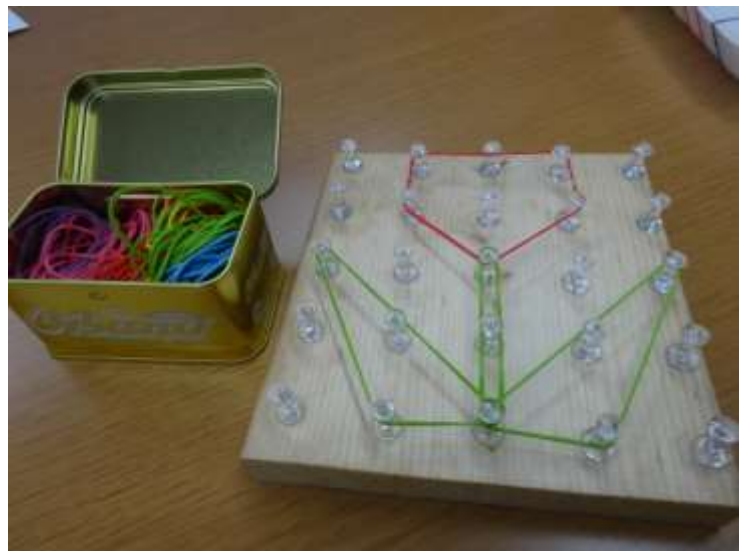
ド～ラの音階が出せるので、「チューリップ」や「キラキラ星」などの演奏が可能だ。

●輪ゴムでお絵かき遊び

これも同じワークショップで行ったものだ。板に画びょうをうちつけ、色輪ゴムを引っかけて色々な形を作ってもらう。輪ゴムの力で画びょうが抜けないように、コルクの板を用いた。

意外と、子どもたちにはこの遊びが一番人気であったようだ。いつまでも熱心に作品を見せに来る子どもが多かった。

画びょうはしっかりと固定しないとゴムの張力によってはずれてしまうので、硬くて丈夫な材質のものが求められる。これに適したものとして、百元ショップのコルク板を選んだ



輪ゴムでお絵かき

●お知らせ

7月23日(土)の午後に、こども歴史文化館との合同事業として当研究会メンバーによるこども向けのワークショップを検討しています。ワークショップへの参加を希望される方は月僧先生または工藤までご連絡ください。